

事業概況アップデート

代表取締役社長 竹中 博司

2011年1月31日



東京エレクトロン

2011年の事業環境

▶ 半導体設備投資

DRAM価格の下落により一部投資計画の調整はあるが、NAND、MPU
およびFoundry向けは好調に推移しており、10%程度の増加を予想

▶ FPD設備投資

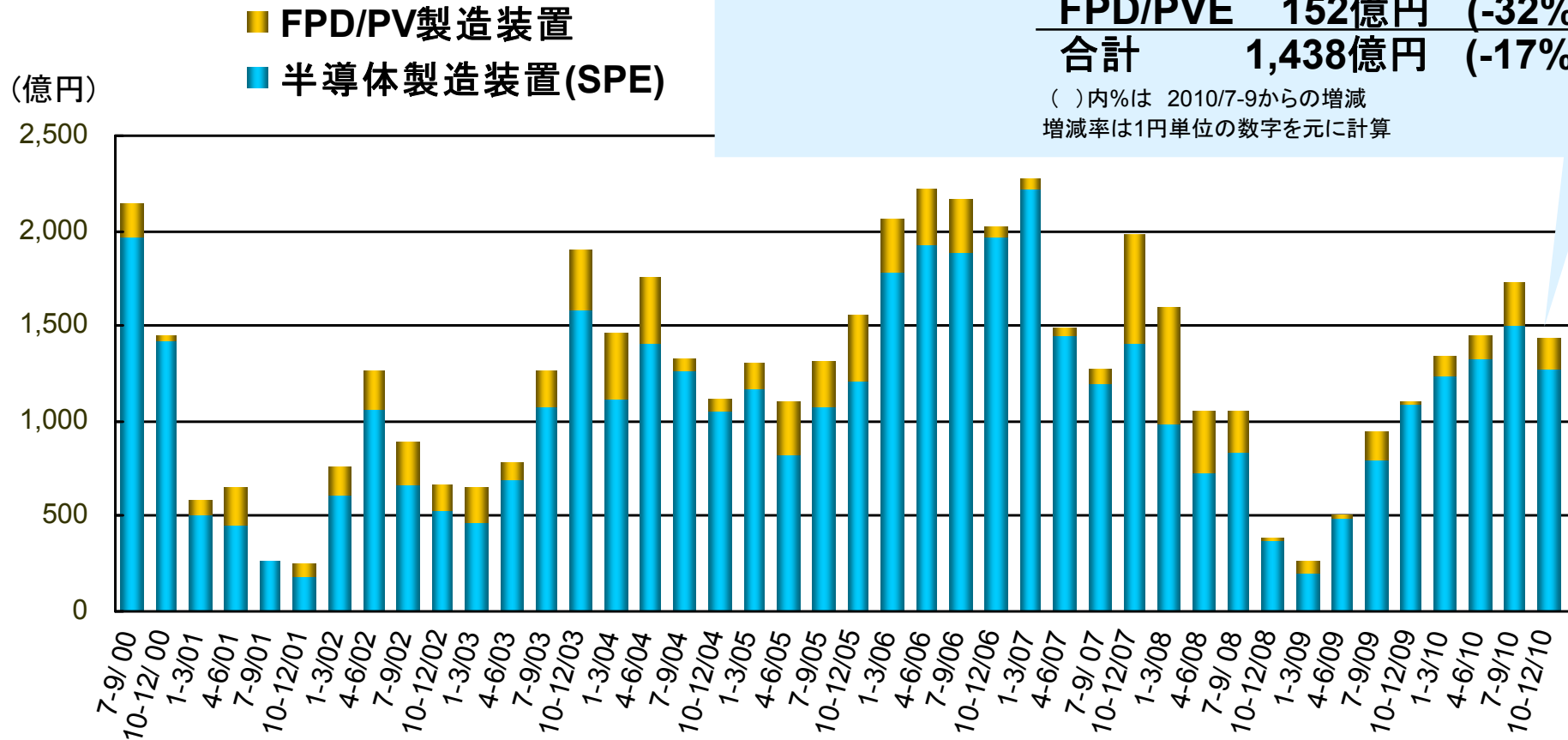
大型パネル向け投資は調整も、タブレットPC・スマートフォン向け投資は
伸長し、全体としては前年とほぼ同程度

▶ PV設備投資

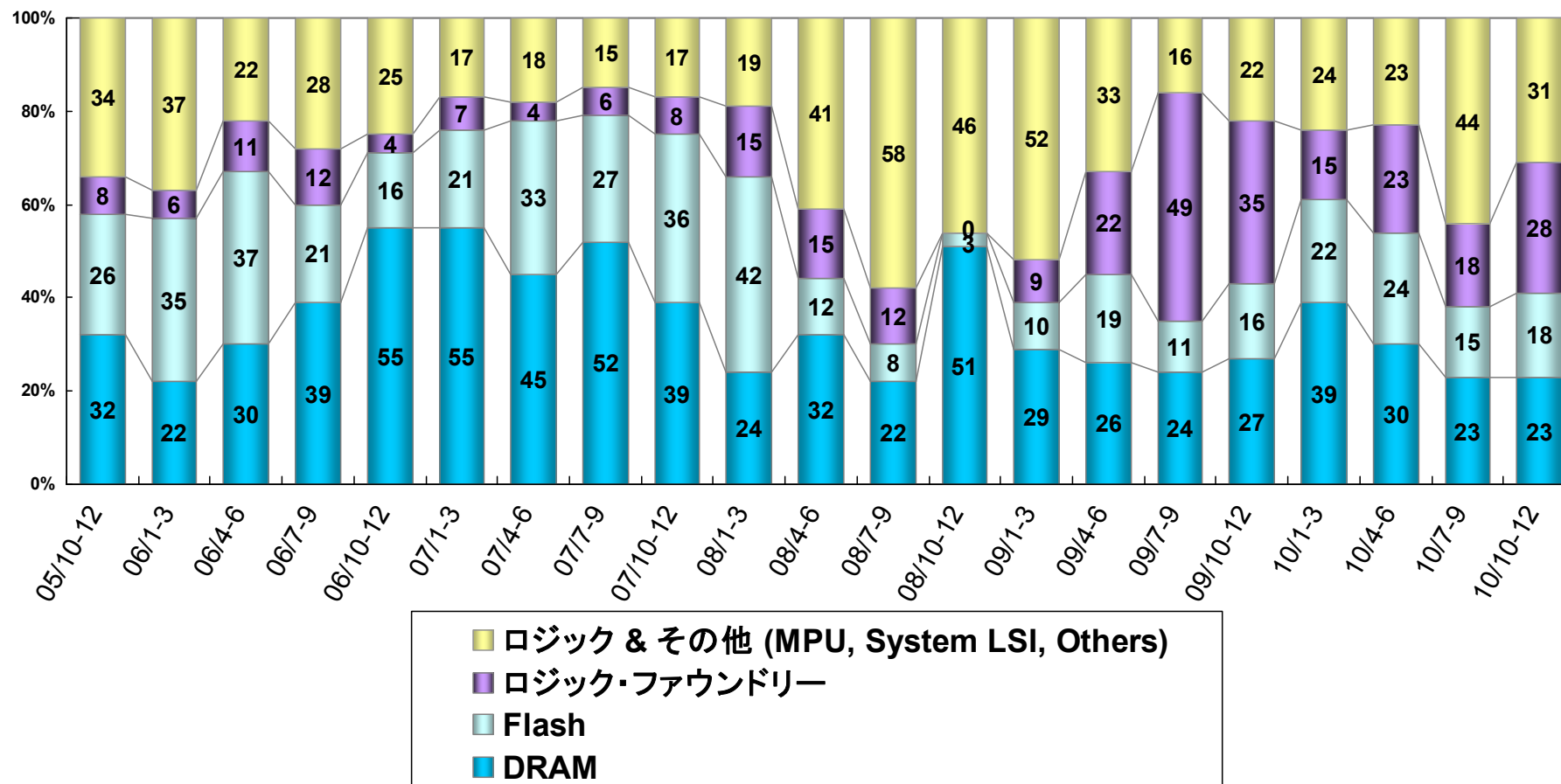
現時点では、単結晶シリコン系や化合物(Cd-Te)系が好調を維持
一方、薄膜シリコン系は、変換効率等の改善により将来性に期待



四半期 SPE+FPD/PVE受注額



四半期 アプリケーション別SPE受注



注) グラフは装置本体受注における構成比を示しています



来期に向けての課題

- ▶ SPE主要製品のシェア拡大
- ▶ 主要顧客との先端技術開発強化
- ▶ コストダウン推進
- ▶ FPD事業再構築
- ▶ 3DI, 有機EL, PV事業の強化



- 将来見通しについて

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、半導体/FPD/PV市況、販売競争の激化、急速な技術革新への当社の対応力、安全・品質管理、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

- 数字の処理について

記載された金額は単位未満を切り捨て処理、比率は1円単位の金額で計算した結果を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

- 為替リスクについて

当社の主力製品である半導体製造装置及びFPD/PV製造装置の輸出売上は、原則円建てで行われます。一部にドル建ての決済もありますが、受注時に個別に先物為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしています。従って、収益への為替レート変動による影響は極めて軽微です。

FPD/PV: フラットパネルディスプレイ及び太陽電池



